令和８年度第３回ＳＰＯＤネットワークコア運営協議会　議事概要

日　時：令和８年７月２２日（水）１０：３０～１１：３０
場　所：各コア校（Ｚｏｏｍ開催）
出席者：別紙のとおり
議　題：

１．ＳＰＯＤフォーラム２０２６について　【資料１－１～９】

事務局から資料１－１～２に基づき、ＳＰＯＤフォーラム２０２６のポスターセッションの概要と台風や災害等の不測の事態が発生した場合の方針について説明があった。講師のオンライン対応の可否については、事前に回答いただいた内容を取りまとめ、講師に共有することとした。

また、資料１－３～５に基づき、最終の申込状況について説明があった。

さらに、資料１－６～９に基づき、各アンケート項目及び周知方法並びに今後の準備スケジュールについて説明があり、原案のとおり承認された。当日の配布資料については、一部を事前に電子データでも配布することとした。

２．ＳＰＯＤフォーラム２０２７について　【資料２】

高知大学から資料２に基づき、ＳＰＯＤフォーラム２０２７の概要について説明があり、開催日程が承認された。情報公開は、ＳＰＯＤフォーラム２０２６の情報交換会における高知大学からの発表後に行う。

３．第２２回大学教育カンファレンスｉｎ徳島について　【資料３】

徳島大学から資料３に基づき、今年度の大学教育カンファレンスｉｎ徳島について説明があった。また、ＳＰＯＤフォーラム２０２６においても広報を行うこととした。

４．令和８年度後期のＳＰＯＤコア運営協議会開催予定について　【資料４】

事務局から資料４に基づき、後期のＳＰＯＤネットワークコア運営協議会の開催予定について説明があった。第４回会議については高知大学での対面開催とし、併せて来年度のＳＰＯＤフォーラム会場の下見を実施予定である旨の説明があった。

なお、第５回及び第６回の開催日程については、別途各コア校の予定を確認のうえ調整することとした。

５．令和８年度ＳＰＯＤ　ＦＤ／ＳＤ分科会について【資料５】

事務局から資料５に基づき、令和８年度のＦＤ／ＳＤ分科会の開催予定について説明があった。分科会で出された意見を翌年度のＳＰＯＤ事業により効果的に反映するため、例年の１～２月から１１月下旬へ開催時期を前倒しすることが了承された。また、議題については、例年の活動報告に代えて中間報告を行うこととした。開催日時については、企画・実施統括者及び各専門部会長と日程調整のうえ決定することとした。

６．その他

中井議長から、次回の協議会は１０月３０日（金）9時３０分から高知大学にて開催予定（Ｚｏｏｍでも参加可）であり、ＳＰＯＤの中期計画（案）について意見を伺う予定である旨の説明があった。

令和8年度　第3回SPODネットワークコア運営協議会出席者名簿

大学名	所　属	氏　名	担当	FD専門部会委員	SD専門部会委員
徳島大学	高等教育研究センター教育基盤開発部門　准教授	吉田　博	FD	○	
	高等教育研究センター教育基盤開発部門　助教	田巻　公貴	FD	○	
	高等教育研究センターアドミッション・EM部門　助教	塩川　奈々美	FD	○	
	法人運営部人事課　副課長	真田　浩志	SD		○
	学務部教育支援課　課長	真名野　佳代	事務		
	学務部教育支援課　教育企画係　係員	香川　みずき	事務		
香川大学	大学教育基盤センター能力開発部長　教授	渡邉　彰	FD	○	
	大学教育基盤センター能力開発部　教授	佐藤　慶太	FD	○	
	大学教育基盤センター能力開発部　准教授	蝶　慎一	FD	◎	
	大学教育基盤センター能力開発部　准教授	西本　佳代	FD	○	
	大学教育基盤センター能力開発部　特命講師	小坂　有資	FD	○	
	大学教育基盤センター能力開発部　特命講師	藤澤　修平	FD		
	教育・学生支援部修学支援課　課員	野崎　真湖	FD		
	教育・学生支援部修学支援課　係長	宮﨑　真美	FD		
	企画総務部給与福利課長	宮﨑　慎也	SD		○
	企画総務部給与福利課　課員	白石　喬子	SD		○
	企画総務部給与福利課　課員	梶川　瑶央	SD		○
	教育・学生支援部教育企画課　課員	奥野　鈴花	事務		
高知大学	学び創造センター　准教授	高畑　貴志	FD	○	
	学び創造センター　准教授	杉田　郁代	FD	○	
	学び創造センター　特任講師	寺田　悠希	FD	○	
	総務部人事課労務管理係　係長	石田　菜美	SD		○
	総務部人事課労務管理係　主任	橋田　由貴	SD		
	学務部学務課　課長補佐	久保　雅裕	事務		
	学務課総務係　係員	梶浦　花	事務		
愛媛大学	教育・学生支援機構　教授	中井　俊樹	議長・FD	○	
	教育・学生支援機構　准教授	清水　栄子	SD		○
	教育・学生支援機構　准教授	上月　翔太	FD	○	
	教育・学生支援機構　講師	村田　晋也	FD	○	
	地域協働支援部　部長	久保　秀二	SD		○
	総務部人事課　課長	堀金　守	SD		◎
	総務部人事課　副課長	吉良　典真	SD		○
	総務部人事課人事・人材育成チーム　サブリーダー	越智　海容	SD		
	教育学生支援部　部長	桐野　律子	事務		
	教育学生支援部　教育企画課　課長	石川　尚	事務		
	教育学生支援部教育企画課教育総務チーム　チームリーダー	西村　優作	SD・事務		○
	教育学生支援部教育企画課教育企画チーム　チームリーダー	河内　貴博	FD・事務	○	
	教育学生支援部教育企画課教育企画チーム　チームリーダー	岡﨑　浩佳	事務		
	教育学生支援部教育企画課教育企画チーム　サブリーダー	小川　達也	事務		
	教育学生支援部教育企画課教育企画チーム　部員	福富　開	事務		

※◎は専門部会長

ネットワークコア運営協議会の構成員に関する申合せ(抄)
(組織)第2　協議会は、次の(1)～(4)に掲げる構成員をもって組織する。
(1)　議長
(2)　各コア校のFD担当者
(3)　各コア校のSD担当者
(4)　各コア校の事務担当者

SPODフォーラム2026　ポスターセッション取組一覧

番号	テーマ	発表代表者			共同発表者
		氏 名	所 属	SPOD加盟校	
1	スチューデントサクセス志向の伴走型アドバイジング	進藤　純平	茨城大学　スチューデントサクセスセンター アカデミックアドバイジング室		大津　正知(茨城大学　教学イノベーション機構　アカデミックアドバイジング室) 菊池　昌彦(茨城大学　学務部学務課　アカデミックアドバイジング室) 池野上　奈央(茨城大学　なんでも相談室) 西川　陽子(茨城大学　教育学部　スチューデントサクセスセンター)
2	Z世代の特徴から考えるゲーミフィケーション授業改善	宮﨑　大樹	大阪成蹊大学　教育学部		
3	学生の関心をつなぐ生成AIマッチングの開発と実践	熊谷　美衣菜	新潟大学　人文学部		畑野　美紀(新潟大学　経済科学部) 阿部　隆騎(新潟大学　工学部) 藤井　心美(新潟大学　人文学部) 諏訪　允野(新潟大学　医学部) 木野　恵吾(新潟大学　教育基盤機構)
4	新潟大学におけるセルフメイドマイナー類型化の試み	阿部　隆騎	新潟大学　工学部		西岡　寧々(新潟大学　大学院総合学術研究科　自然科学専攻生命環境・食料科学プログラム) 志太　穂果(新潟大学　創生学部) 鈴木　友陽(新潟大学　理学部) 木野　恵吾(新潟大学　教育基盤機構)
5	生成AIを活用したSA業務知識習得テスト開発	吉田　もとな	新潟大学創生学部3年		内山　真桜(新潟大学　理学部3年) 木野　恵吾(新潟大学　教育基盤機構)
6	学生参画に対する学生の意識調査	小林　珠子	龍谷大学　学修支援・教育開発センター		栃木　紅美(龍谷大学　教学企画部)
7	校友と連携した教職協働による教員志望学生の育成	地主　成美	早稲田大学　教職支援センター		米内　達也(早稲田大学　教職支援センター) 中山　史絵(早稲田大学　教職支援センター) 岡崎　成光(早稲田大学　教職支援センター)
8	生成AIとAPIで実現する大学の公開情報悉皆調査	葛西　崇文	愛媛大学　教育・学生支援機構	○	
9	LMSによる情報共有を活用したグループワーク	南川　慶二	徳島大学　教養教育院	○	
10	中堅層大学職員向け研修プログラムの効果に関する研究	佐藤　浩輔	大阪体育大学		
11	共に歩む課題解決	山本　博	京都橘大学　情報システム部 情報システム課		
12	認証評価を活用したSD研修による次世代育成の取組み	前河　泰正	大阪国際大学　IR室		
13	介入的支援におけるアドバイジングの位置づけ	清水　栄子	愛媛大学　教育・学生支援機構	○	上月　翔太(愛媛大学　教育・学生支援機構) 中山　晃(愛媛大学　教育・学生支援機構) 中井　俊樹(愛媛大学　教育・学生支援機構)
14	大学中退予測の変数と方法論的課題	真鍋　亮	東北大学　理学研究科		中山　晃(愛媛大学　教育・学生支援機構) 中井　俊樹(愛媛大学　教育・学生支援機構)
15	大学の未来を予測する	上月　翔太	愛媛大学　教育・学生支援機構	○	
16	リーディング／ライティング教育の学問分野別特性	上月　翔太	愛媛大学　教育・学生支援機構	○	蝶　慎一(香川大学　大学教育基盤センター) 飯尾　健(徳島大学　高等教育研究センター　教育改革推進部門) 加藤　朱莉(新居浜工業高等専門学校　機械工学科)
17	TF・GSIの実態とその特徴－コア校を事例としてー	蝶　慎一	香川大学　教育推進統合拠点 大学教育基盤センター	○	上月　翔太(愛媛大学　教育・学生支援機構) 吉田　博(徳島大学　高等教育研究センター) 飯尾　健(徳島大学　高等教育研究センター) 寺田　悠希(高知大学　学び創造センター　学びの質保証ユニット)
18	生成AIを活用した「FD・SDコンテンツ」の改善	飯尾　健	徳島大学　高等教育研究センター	○	吉田　博(徳島大学　高等教育研究センター) 仲道　雅輝(愛媛大学　教育・学生支援機構) 上月　翔太(愛媛大学　教育・学生支援機構) 杉田　郁代(高知大学　学び創造センター)
19	日本の大学における包括的学術開発の基礎的検討	吉田　博	徳島大学　高等教育研究センター	○	竹中　喜一(近畿大学　IR・教育支援センター) 杉森　公一(北陸大学　高等教育推進センター) 西野　毅朗(京都橘大学　経営学部)
20	「成績不振・不登校学生支援のTips」の開発報告	杉田　郁代	高知大学　学び創造センター	○	坂本　智香(高知大学　学び創造センター) 大沼　泰枝(香川大学教育推進統合拠点 学生支援センター) 井ノ崎　敦子(徳島大学キャンパスライフ健康支援センター) 塩川　奈々美(徳島大学 高等教育研究センター) 蝶　慎一(香川大学 大学教育基盤センター) 吉田　博(徳島大学　高等教育研究センター)
21	保育分野における学生参加型FD開発の成果と課題	塩川　奈々美	徳島大学　高等教育研究センター	○	寺川　夫央(今治明徳短期大学　幼児教育学科) 船本　孝子(徳島文理大学短期大学部) 十河　治幸(今治明徳短期大学　幼児教育学科) 吉井　ゆだね(今治明徳短期大学　幼児教育学科) 勢井　香菜子(徳島文理大学　人間生活学部　児童学科)
22	保育士養成課程で学ぶ学生の苦手意識に関する考察	船本　孝子	徳島文理大学　短期大学部保育科	○	勢井　香菜子(徳島文理大学　人間生活学部　児童学科) 寺川　夫央(今治明徳短期大学　幼児教育学科) 十河　治幸(今治明徳短期大学　幼児教育学科) 吉井　ゆだね(今治明徳短期大学　幼児教育学科) 塩川　奈々美(徳島大学　高等教育研究センター)
23	大学間連携による協働開設科目の成果可視化と点検評価	藤本　正己	山口大学　教育・学生支援機構 教学マネジメント室		岩野　摩耶(山口大学　教育・学生支援機構教学マネジメント室) 河本　博史(山口学芸大学・山口芸術短期大学　学生部) 高野　純一(山口県立大学　将来構想推進局　DX・IR推進室) 林　省一(山口県立大学　将来構想推進局　SPARC推進室) 藤田　采花(山口県立大学　将来構想推進局　SPARC推進室) 松村　納央子(山口学芸大学) 吉村　耕一(山口県立大学　看護栄養学部　看護学科) 渡邉　早苗(山口大学　学生支援部　教育支援課)
24	AI対応情報関連授業へのAL導入と設計	大野　玲	新居浜工業高等専門学校	○	

ＳＰＯＤフォーラム２０２６　プログラムアンケート

研修内容の充実と改善のため、受講されたプログラムについて、率直なご意見をお聞かせください。
ご回答いただいた内容は、今後のSPOD事業改善のための分析・研究に使用し、それ以外の目的で使用することはありません。

* 必須の質問です

1。 １．プログラム受講日について *

1 つだけマークしてください。

- ◯ 1日目　*質問2 にスキップします*
- ◯ 2日目　*質問3 にスキップします*
- ◯ 3日目　*質問4 にスキップします*

受講プログラム１日目

2。 ２．受講プログラムについて *

Dropdown

受講したプログラムを選択してください。

1 つだけマークしてください。

- ◯ 【2601B】中堅層職員から始める組織変革の試み
- ◯ 【2601C】職員対象自主勉強会をどう始め、運営するか
- ◯ 【2601D】業務マニュアルの作り方
- ◯ 【2601E】ＪＣで担当業務を自分らしく工夫する
- ◯ 【2601F】ピア・サポートの現在から共に未来を考える
- ◯ 【2602A】大学教育における生成AI活用
- ◯ 【2602B】質向上時代の大学評価を再考しよう
- ◯ 【2602C】学術研究を持続的に推進するための研究経営
- ◯ 【2602D】教職員のための基礎から学ぶD&I
- ◯ 【2602E】ゲートキーパー養成講座 学生の自殺予防支援研修
- ◯ 【2602F】ＫａｄａｉＤＸ塾ハンズオン初級編
- ◯ 【2603A】地理的アクセスの視点で考える高等教育機会
- ◯ 【2603B】学務系職員のための学生理解・支援
- ◯ 【2603C】学術研究の持続的な推進と研究の安全保障
- ◯ 【2603D】若手職員のための業務改善
- ◯ 【2603E】小グループ・ペア学習を取り入れた授業デザイン
- ◯ 【2603F】テキストマイニング入門

質問5 にスキップします

受講プログラム２日目

3。 ２．受講プログラムについて *

Dropdown

受講したプログラムを選択してください。

1 つだけマークしてください。

- 【2701A】地域とともに未来を担う人材を育てる
- 【2701B】留学生支援のための在籍管理
- 【2701C】大学院教育の質保証とは－制度の理解と運用
- 【2701D】FD担当者のためのFD企画講座
- 【2701E】ニューロダイバーシティから合理的配慮を考える
- 【2701F】電子テキスト型コンテンツの制作と授業運用
- 【2702A】自律的な質保証への転換
- 【2702B】学生の意欲を高めるアカデミック・アドバイジングの手法
- 【2702C】理念から設計！－初任者研修の作り方－
- 【2702D】カリキュラムを通した学習成果の評価を考える
- 【2702E】自己調整を促す！教職協働による留年防止研修
- 【2702F】生成AI×IDで考える授業改善
- 【2703G】シンポジウム「デジタル技術が変える高等教育の未来」

質問 5 にスキップします

受講プログラム３日目

4。 ２．受講プログラムについて *

Dropdown

受講したプログラムを選択してください。

1 つだけマークしてください。

- 【2801A】基礎から学ぶ契約書作成実務
- 【2801B】AIとピア・サポートで実現する未来志向のアカデミック・アドバイジング
- 【2801C】レジリエンス視点で学ぶ大学職員の組織運営入門
- 【2801D】発問と応答でつくる学びの循環
- 【2801E】教職員としての障害者対応について考える
- 【2801F】デジタル学修歴証明書入門
- 【2802A】これからのアカデミック・アドバイジング
- 【2802B】４０代からのキャリアデザイン－リスキリングで未来を拓く－
- 【2802C】 Excelではじめる統計分析
- 【2802D】学生の書く力と読む力を高めるために
- 【2802E】障害のある学生の成長につなげる支援のあり方
- 【2802F】ケースで学ぶ大学の危機対応

質問 5 にスキップします

３.この研修について

研修についてのご意見をお聞かせください。

5。 （1）受講された研修への評価 *

1 行につき 1 つだけマークしてください。

	④そう思う	③どちらかといえばそう思う	②どちらかといえばそう思わない	①そう思わない
１．研修目的や内容についてある程度知った上で参加した				
２．研修は自分の業務に活かせる内容だった				
３．研修の到達目標は明確に示されていた				
４．研修はわかりやすい順序ですすめられた				
５．講師の言動は学習意欲を高めた				
６．自分に活かせる知識やスキルを身につけることができた				
７．受講したことによって業務への取り組み方が改善されると思う				
８．研修内容は満足できるものだった				

6。 （2）この研修を受講して良かったと思われる点を、具体的にお書き下さい。

7。 （3）この研修をよりよいものとするために改善すべき点があれば、具体的にお書き下さい。

質問 8 にスキップします

4．参加者ご自身について

8。 （1）所属先 *

1 つだけマークしてください。

- ①大学
- ②短期大学
- ③高等専門学校
- ④その他

9。 （2）
（1）で「④その他」と回答の方のみご回答ください。

10。 （3）所属先の設置者 *

1 つだけマークしてください。

- ①国（国立大学法人）
- ②地方自治体（公立大学法人を含む）
- ③学校法人
- ④その他

11。 （4）
（3）で「④その他」と回答の方のみご回答ください。

12。 （5）所属先の所在地 *

1 つだけマークしてください。

- ①四国
- ②北海道
- ③東北
- ④関東
- ⑤中部
- ⑥近畿
- ⑦中国
- ⑧九州・沖縄
- ⑨その他

13。 （6）

（5）で「⑨その他」と回答の方のみ、所属先の所在地についてご回答をお願いします。

14。 （7）職種 *

1 つだけマークしてください。

- ①教員
- ②職員
- ③その他

15。 （8）

（7）で「③その他」と回答の方のみ、職種についてご回答をお願いします。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム

ＳＰＯＤフォーラム２０２６全体アンケート

ＳＰＯＤフォーラム２０２６へご参加いただき、ありがとうございました。
フォーラム全体について、率直なご意見をお聞かせください。

回答いただいた内容は、今後のＳＰＯＤ事業改善のための分析・研究に使用し、それ以外の目的で使用することはありません。

アカウントを切り替える

共有なし

* 必須の質問です

１．ＳＰＯＤフォーラムでの研修成果について

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
ＳＰＯＤフォーラムは全体的に満足できる内容であった	○	○	○	○
所属組織を越えて人脈を広げることができた	○	○	○	○
自分に必要な知識やスキルを身につけることができた	○	○	○	○
業務や教育に積極的に取り組んでいきたいと思うようになった	○	○	○	○
フォーラムで得た知識やスキルを所属組織や教育現場で実際に活用している	○	○	○	○
フォーラムで得た知識やスキルを所属組織や他の教職員に伝達している	○	○	○	○
今後もフォーラムをはじめ、ＳＰＯＤが提供するプログラムに参加したい	○	○	○	○

次へ

フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

ＳＰＯＤフォーラム２０２６全体アンケート

toktaro117@gmail.com アカウントを切り替える

共有なし

* 必須の質問です

２．「新たな出会いと交流の部屋」（以下、部屋）について

ＳＰＯＤフォーラム中に部屋を何度訪れましたか？ *

- ○ 一度も訪れていない
- ○ １回訪れた
- ○ ２回訪れた
- ○ ３回以上訪れた

戻る　次へ　フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。 - フォームのオーナーに問い合わせる - 利用規約 - プライバシー ポリシー

このフォームが不審だと思われる場合 報告

Google フォーム

ＳＰＯＤフォーラム２０２６全体アンケート

アカウントを切り替える

共有なし

* 必須の質問です

部屋を訪れた理由として当てはまる番号を一つ選択してください。 *

- ① 必要としている出会いや交流（知識、情報、スキル、人物など）が明確にあり、それが得られると期待したから
- ② 特に必要としている出会いや交流が明確にあるわけではないが、新しい何かが得られると期待したから
- ③ 新しい取組ということで興味があったから
- ④ 特に期待や興味があるわけではないが、知り合いに誘われたから
- その他: _____

SPODフォーラム中に期待通りの新しい出会いや交流はできましたか？当てはまる番号を一つ選択してください。 *

- ④ できた
- ③ どちらかと言えばできた
- ② どちらかと言えばできた
- ① できなかった

来年も同様の取組があるといいと思いますか？当てはまる番号を一つ選択してください。 *

- ④ そう思う
- ③ どちらかと言えばそう思う
- ② どちらかと言えばそう思わない
- ① そう思わない

戻る　次へ　フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。 - フォームのオーナーに問い合わせる - 利用規約 - プライバシー ポリシー

このフォームが不審だと思われる場合 報告

Google フォーム

ＳＰＯＤフォーラム２０２６全体アンケート

アカウントを切り替える

共有なし

３．感想・ご意見・ご要望等

ＳＰＯＤフォーラムに参加して良かったと思われる点を、具体的にお書きください。

回答を入力

ＳＰＯＤフォーラムで得た知識やスキルを所属組織や教育現場でどのように活用していますか。具体的にお書きください。

回答を入力

ＳＰＯＤフォーラムの時間割、プログラムの配置について改善点があれば、具体的にお書きください。

回答を入力

ＳＰＯＤフォーラムをよりよいものとするために改善点があれば、具体的にお書きください。

回答を入力

ＳＰＯＤフォーラムで開講してほしい研修プログラムがあれば、具体的に内容をお書きください。

回答を入力

ＳＰＯＤの事業全般についてご意見やご要望があれば、自由にお書きください。

回答を入力

戻る　次へ　フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。 - フォームのオーナーに問い合わせる - 利用規約 - プライバシー ポリシー

このフォームが不審だと思われる場合 報告

Google フォーム

ＳＰＯＤフォーラム２０２６全体アンケート

アカウントを切り替える

共有なし

* 必須の質問です

４．参加者ご自身について

所属先１ *

- ＳＰＯＤ加盟校
- ＳＰＯＤ加盟校外

所属先２ *

- 大学
- 短期大学
- 高等専門学校
- その他

「その他」と回答の方のみ、所属先についてご回答をお願いします。

回答を入力

所属先の学生数(※大学の場合は学部学生数) *

- ○ 10,000人以上
- ○ 5,000人以上10,000人未満
- ○ 1,000人以上5,000人未満
- ○ 1,000人未満
- ○ 該当なし(所属先2で「その他」を選択された方はこちらを選択してください)

所属先の設置者 *

- ○ 国（国立大学法人）
- ○ 地方自治体（公立大学法人を含む）
- ○ 学校法人
- ○ その他

「その他」と回答の方のみ、所属先の設置者についてご回答をお願いします。

回答を入力

所属先の所在地

- ○ 北海道
- ○ 東北
- ○ 関東
- ○ 中部
- ○ 近畿
- ○ 中国
- ○ 四国
- ○ 九州・沖縄

職種

- ○ 教員
- ○ 職員
- ○ 学生
- ○ その他

「その他」と回答の方のみ、職種についてご回答をお願いします。

回答を入力

大学教職員等の経験年数 *

- ○ 経験なし
- ○ 1年未満
- ○ 1～5年
- ○ 6～10年
- ○ 11～20年
- ○ 21～30年
- ○ 31年以上

ＳＰＯＤフォーラムの参加は何回目ですか？ *

- ○ 1回目
- ○ 2回～5回目
- ○ 6回以上

ＳＰＯＤフォーラムに参加した動機は何ですか？（複数選択可） *

- ☐ 過去の参加者に参加をすすめられたため
- ☐ 上司に参加をすすめられたため
- ☐ 自分自身の能力開発のため
- ☐ 組織の課題を解決するヒントを得るため
- ☐ 組織を越えた人脈づくりのため
- ☐ ＦＤやＳＤに関する情報収集のため
- ☐ その他

「その他」と回答の方のみ、参加動機についてご回答をお願いします。

回答を入力

あなたはＦＤまたはＳＤの実施担当者ですか？

- ○ ＦＤの実施担当者
- ○ ＳＤの実施担当者
- ○ ＦＤとＳＤ両方の実施担当者
- ○ ＦＤやＳＤの実施担当者ではない

戻る　送信　フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。 - フォームのオーナーに問い合わせる - 利用規約 - プライバシー ポリシー

このフォームが不審だと思われる場合 報告

Google フォーム

SPOD フォーラム2026（愛媛大学開催）
アンケート（個別プログラム・全体）の周知方法について（案）

フォーラム開催期間：8月26日（水）～28日（金）

【個別プログラムアンケート】
個別アンケート回答期限：～9月2日（水）
周知方法：
①8月26日（水）～全体受付の配布資料に QR コード追加
②8月26日（水）～各プログラム終了後の事務アナウンスでアンケート回答依頼
③8月26日（水）～1日の終わりに参加（予定）者全員にメールにてアンケート回答依頼
④8月31日（月） 参加（予定）者全員にメールにてアンケート回答依頼（リマインド）

【全体アンケート】
全体アンケート回答期間：9月24日（木）～10月7日（水）
周知方法：
①9月24日（木）：参加者全員にメールにてアンケート回答依頼
②10月5日（月）：参加者全員にメールにてアンケート回答依頼（リマインド）

ＳＰＯＤフォーラム２０２６今後のスケジュール（予定）

5月11日(月)	各コマのタイトル等提出期限
5月上旬 5月31日(日)	協賛企業の募集開始 協賛企業の募集締切
5月22日(金)	各コマのシラバス・必要物品回答期限
5月27日(水)	講師依頼にかかる承諾書の提出期限
5月29日(金) 第２回コア会議	プログラム最終確認→確定 ※タイトル未定のものは6月1週目に決定
6月初旬	メールマガジン等でSPODフォーラムの日程、ポスターセッションの募集について周知 ※第２回コア会議後
6月8日(月)正午	チラシ・プログラムガイド（シラバス等）公開
6月 8日(月)正午 6月19日(金)正午	ポスターセッション申込開始 ポスターセッション申込締切
6月15日(月)正午 6月29日(月)正午	加盟校及び講師限定申込開始 加盟校及び講師限定申込締切
7月1日(水)	ポスターセッション発表者確定
7月 1日(水)正午 7月17日(金)正午	一般（加盟校含む）申込開始 一般（加盟校含む）申込締切
7月22日(水) 8月17日(月)	加盟校外参加者へ請求書送付 振込期限
7月22日(水)	事前課題提出期限（設定するプログラムのみ）
7月27日(月)	事前課題公開（当該プログラム受講者のみ）
８月3日(月)	研修資料提出期限（各講師→事務局） ※スライド資料はPDF
８月24日(月)	資料を参加者へ共有（PDFデータ） ※事前配布に了承いただいたプログラムのみ
8月26日(水)～28日(金)	ＳＰＯＤフォーラム２０２６開催

令和 8 年度後期のSPODコア運営協議会開催予定について

（第4回）
日時：令和 8 年 10 月 30 日（金） 9：30～
場所：高知大学（対面） ※Zoom での参加も可

- 対面参加の場合の旅費はSPODから支給するが、予算の関係上、できるだけ公用車での乗り合わせをお願いしたい。
- 昨年度の事業評価委員会からの指摘・要望事項に関する対応策について、各部会および事務局より報告を行う予定。また、SPODフォーラムの事後アンケート結果についても併せて報告予定。
- 来年度のSPODフォーラム使用会場の下見の実施を予定。

（第5回） 例年12月頃 オンライン

（第6回） 例年2月頃 オンライン

- 5回目以降の開催日については、事務局から別途日程照会を行う予定。

令和8年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」

FD／SD分科会　実施概要（案）

例年、1月から2月にかけてFD・SD分科会を開催し、各加盟校との意見交換を行っている。しかし、分科会で出された意見を翌年度のSPOD事業の企画・運営により効果的に反映するため、本年度は開催時期を11月下旬に前倒しすることを検討している。

実施にあたっては、事前アンケートにより加盟校から意見を収集し、その内容を踏まえて意見交換を行う予定である。開催日時については、企画・実施統括者及び各専門部会長と調整のうえ決定する。

1．FD分科会

日　　時：令和8年11月25日（水）または26日（木）　1時間程度

実施方法：オンライン開催（Zoom）

出 席 者：各加盟校のFD担当者等

議　　題：

令和8年度SPOD活動報告

令和9年度SPOD活動計画　等

※主にFD事業について、広く意見交換を行う

2．SD分科会

日　　時：令和8年11月25日（水）または26日（木）　1時間程度

実施方法：オンライン開催

出 席 者：各加盟校のSD担当者等

議　　題：

令和8年度SPOD活動報告

令和9年度SPOD活動計画　等

※主にSD事業について、広く意見交換を行う